



〒805-0071 北九州市八幡東区東田二丁目4番1号
Tel 681-1011 Fax 661-7503
HP <https://www.kmnh.jp/>
発行:いのちのたび博物館 ミュージアムティーチャー

いのちのたび



今年度から情報誌「いのちのたび」は、4・5月、7・8月、10・11月、1・2月を合併号として発行しますので、みなさんには8回お届けすることになりました。ご了承ください。

展示をリニューアルしました!

3月4日より常設展示をリニューアルして、開館しています。

- 最大級の肉食恐竜、スピノサウルスや4mを超えるオオナマケモノ類、エレモテリウム等を展示しました。
- 文化学習園にある明治時代に建てられた再現民家の茅葺屋根を葺き替えました。



スピノサウルス

Courtesy of The University of Chicago



エレモテリウム

見に来てね!



「世界の野生ネコ科展」見どころ紹介

5月7日まで
好評開催中!



いろいろなネコ科の動物が見られるよ。



びっくり!!



先生、ちょっと聞いて!

小学3年社会科「むかしの道具とくらし」

古くから残る道具や、それらを使っていた頃の暮らしの様子について調べよう。

当館では、約100年前の北九州に多く見られた民家が復元された「文化学習園」や、昭和30年代(約60年前)の八幡製鐵所社宅が再現された「民俗探究館」があり、そこでの暮らしの様子を見ることができます。

「文化学習園」から「探究館」の順で見学し、時代が変わると家の中の様子や生活が変わっていくことをとらえさせます。また、調べる際には、「台所」と「居間」の様子に着目させ道具や暮らしの変化を具体的に調べ、ワークシートにまとめるようにします。



ワークシート等は、右のQRコードから見られるよ!



ワークシートが
使用できるよ



ミュージアムのタネ

羽毛恐竜の発見

皆さんの学校や家にある恐竜図鑑に、「羽毛」のある肉食恐竜の獣脚類が紹介されていると思います。前あしに翼のような羽根が描かれている恐竜、背中など体に毛のような羽毛が描かれている恐竜などを見ることができるようではないでしょうか。彼らの仲間には、化石にはっきりと羽毛のあとが残っているものもいれば、化石に羽毛が見つかっていないけれど、近い仲間から羽毛が見つかったので、羽毛付きで描かれている恐竜もいます。このような羽毛があった小型の肉食恐竜の中から鳥の祖先が現れて鳥へと進化したのだと考えられています。



後ろあしにも翼がある羽毛恐竜マイクロラプトル

羽毛のある恐竜化石の最初の報告は1996年でした。中国の今から約1億2000万年前の白亜紀前期の地層から発見されたシノサウロプテリクスという恐竜です。首から背中にかけて細かい繊維のようなものが残っていて、これが羽毛の原型だと考えられています。そしてシノサウロプテリクス以降、たくさんの羽毛がある恐竜の化石が見つかっています。



映画でも有名なヴェロキラプトルも羽毛恐竜です

1996年までは恐竜に羽毛があることはわかっていませんでしたので、それより前の図鑑では羽毛恐竜は描かれていません。2000年代初め頃の図鑑では羽毛恐竜が登場しているので、今から約20年前には羽毛恐竜が図鑑で取り上げられるようになっていたようです。皆さんのご父さんやご母さん、先生の中には初めて読んだ恐竜の図鑑に羽毛恐竜がいなかった方もいらっしゃるかもしれません。

今も化石の発見や研究によって恐竜のことが少しずつわかってきたり変わってきたりしているので、皆さんが大人になった時にどんな恐竜図鑑になっているのか、そのころに手にしてみるのも面白いかもしれません。



デイノニクスにも羽毛があったと考えられています

自然史課学芸員 大橋 智之